

氷見市長 林 正之 様

要 望 書

平成 30 年 2 月 2 日

氷見商工会議所

会頭 寺下 利宏



1. まちづくり関連

(1) まちづくりにおけるグランドデザインのあり方について

氷見市当局におかれましては、氷見市市街地グランドデザイン検討委員会にて幅広い関係者による意見の集約により方向性を取りまとめておられますが、市街地にある4つの空地の整備については、中心市街地の活性化において非常に重要と考えることから次のとおり要望します。

ア 旧市民病院跡地の利活用について H29-094-001

市民会館が休館してから市民の文化・芸術等の発表の場の確保に苦慮している現状を鑑み、日頃より市民が足を運ぶ機能を付加した多機能の市民ホール整備を4つの空地の中でも最優先の取り組みとすることを要望します。

イ 旧市役所跡地の利活用について H29-094-002

旧市役所跡地は、藤子不二雄[Ⓐ]先生の生家である光禅寺に隣接しているなど、まちなか観光の拠点となるべき場所であります。

まちなか観光を推進して賑わいを創出するため、まんが広場やまんがの拠点となる施設の整備を要望します。

また、まちなかには大型観光バスが駐車できる駐車場がないことから、施設整備に合わせて大型バスが利用できる駐車場の整備も要望します。

ウ 市民会館跡地の利活用について H29-094-003

現在休館となっている市民会館周辺は、湊川や湊川河川敷の緑など自然環境に恵まれており、また、湊川対岸には大正時代に建てられた土蔵が位置し、ごんごん祭りで賑わう上日寺の参道に隣接しております。これらを一体的に活用し、多くの人に潤いのある水辺空間を楽しんでいただけるように、市民会館敷地と対岸の土蔵を結ぶ橋梁の整備を要望します。

エ 旧朝日丘小学校の跡地の利活用について H29-094-004

小中学校に近く、将来は子育て拠点施設の整備が見込まれることから、必要な駐車場の確保を要望します。

オ 共通する防災・避難場所の機能について H29-094-005

4つの空地に住宅や事業所が集積するまちなかには欠かせない防災、避難場所としての機能を持たせることを要望します。

(2) 交流・定住人口の拡大に向けた施策の実施について H29-094-006

市においては、平成27年10月に「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して目標達成に向けて取り組んでおられますが、人口減少時代の地域活性化には交流人口や移住による定住人口の増加が不可欠であることから、引き続き精力的に取り組まれることを要望します。

2. 観光関連

観光は、地域経済の活性化、雇用の受け皿、域外からの経済循環につながる分野であります。人口減少・少子高齢化が進むなか、観光需要を喚起することが大変重要であることから、次のとおり要望します。

(1) 「氷見温泉郷」PR強化への支援について H29-094-007

観光客のニーズが高い温泉について「氷見温泉郷」としての情報発信強化に対する支援を要望します。

(2) 観光PR看板の設置について H29-094-008

氷見市の強みの一つである観光のステップアップを目指すためには、氷見の豊かな観光資源などを効果的にPRすることで、氷見を訪れる観光客に氷見の魅力を伝えること、また、市民の観光に対する意識啓発からなる観光への協力を仰ぐことが肝要です。

このことから、能越道を利用される方々への効果的なPRとして、観光客、市民ともに利用の多い氷見インターチェンジ近くに観光PRに関する看板の設置を要望します。

(3) 顧客ニーズを捉えた施設整備への支援について H29-094-009

顧客ニーズ（少人数・個室化、バリアフリー化、温泉及びインバウンド対応等）を捉えた経営改善を行うための施設整備等への支援を要望します。

3. 地域交通網の整備

地域活性化には、地方交通網の維持発展が必要と考えます。特に JR 氷見線は通勤・通学など市民の生活には身近な交通手段として必要不可欠であるとともに観光面でも欠かすことのできないものであり、JR 氷見線の維持発展につき、次のとおり要望します。

(1) 氷見線と城端線の直通化について H29-094-010

北陸新幹線利用者にとって新高岡駅から氷見へのアクセスの利便性向上が氷見にとって大変重要であり、氷見線・城端線の直通化の早期実現に向けて関係する市と連携しながら、引き続きJRへ働きかけていただきますよう要望します。

(2) 氷見線の乗車率向上に向けて H29-094-011

現在、氷見線応援委員会にて氷見線の乗車率向上に向けた取組みを実践しているところではありますが、マイレール意識の高揚及び氷見線の乗車率向上に向けた事業について広く市民へのアピール、及び関連自治体と乗車率向上に向けた連携について要望します。

4. 地域経済の活性化および中小企業・小規模企業の振興について

政府の経済政策により、景気は上向きつつあるものの、当市の中小企業・小規模企業においては依然厳しい経済状況にあります。

国の小規模企業振興基本計画には、小規模企業の振興と地域経済の活性化を一体的に達成するため、「地域経済に波及効果のある事業の推進」及び「地域のコミュニティを支える事業の推進」が盛り込まれており、当市においても域内消費拡大事業や創業・事業承継支援、人材育成、中小企業振興条例の制定など地域の経済やコミュニティを支える事業への展開が重要であり、地域経済の活性化と中小企業・小規模企業の振興について次のとおり要望します。

(1) 域内消費拡大事業について H29-094-012

氷見商工会議所では平成27年に氷見域内消費拡大推進協議会を発足し、地域経済の好循環を目指して域内消費拡大のための事業を展開しているところであります。

氷見市内の経済循環を促すために地域商品券の必要性を感じており、地域商品券事業に対する支援を要望します。

また、市民向けの各種補助金等（子育て支援や移住応援、各種住民サービス）について、市内限定で使える地域商品券の積極的な活用を要望します。

(2) 創業支援事業・事業承継支援について

少子高齢化の中、地域経済活性化及び雇用の維持には、地域での創業の促進及び経営者の高齢化等の課題を抱える中小企業の世代交代・再活性化など事業承継を進めることが急務となっています。

このことから、創業・継業支援について次のとおり要望します。

ア 地域経済の活性化には创业者の増加が不可欠であり、当所においても氷見市創業支援計画に基づき、創業支援事業を展開しているところであります。H28年より、創業相談窓口に創業相談員を配し、創業支援を実施し着実に创业者を増加しているところであります。更なる創業を推進するために創業支援事業への支援を要望します。H29-094-013

イ 氷見市では、創業支援補助金により創業時の事業運営への支援を実施していただいております。创业者にとって創業時の設備投資や運転資金の負担に非常に有益な補助金であることから、今後とも継続いただくことを要望します。H29-094-014

ウ 中小企業経営者の高齢化が進展し、団塊世代の経営者が引退期を迎える2020年頃には後継者難を理由に廃業を余儀なくされる中小企業が増加することが見込まれ、円滑な事業承継支援が喫緊の課題となっています。氷見市においても事業者の高齢化が進み、今後事業承継を検討する事業所が増加することが予想されます。

地域における事業承継ニーズの掘り起こしや、事業承継・事業再生を契機とした中小企業による新しい取り組みへの支援を行うことが必要であり、事業承継時に事業転換に挑戦する企業に対し、設備投資・販路拡大・既存事業の廃業等に必要な経費への支援を要望します。H29-094-015

(3) 中小企業・小規模企業振興条例について **H29-094-016**

中小企業・小規模企業は地域に密着した存在として、地域経済の発展と雇用機会の創出に大きな役割を果たすとともに、経済活動を通して豊かな地域づくりに貢献しています。

中小企業・小規模企業の振興を目的とした条例について、できるだけ早い時期での制定を要望します。

また、条例に基づく実効性のある施策と事業実行の推進を要望します。

(4) 人材確保と育成に対する支援について **H29-094-017**

中小企業・小規模企業にとって、人材は企業の競争力や成長を支えるためには欠かせない経営資源であり、優秀な人材の確保と育成は経営の存続を左右するものであるとともに、重要な経営課題でもあります。市内中小企業・小規模企業の安定的な発展のためにも、優秀な人材を確保するための支援及び資格取得に対する支援を要望します。

(5) 国が進める小規模事業者経営改善資金貸し付けの利子補給について **H29-094-018**

小規模企業の経営安定のために、国の定める無担保・無保証の融資制度で日本政策金融公庫から受けることができる「小規模事業者経営改善資金（マル経資金）」を氷見商工会議所において推薦しております。

この融資制度により、市内小規模企業の経営改善となる事業資金を調達し、経営の持続化に貢献しております。呉西地区6市の内、4市において利子補給制度を実施しており、小規模事業者にとってより使いやすい制度とするために、氷見市においても小規模事業者経営改善資金の利用企業に対して利子補給の実施を要望します。

(6) 氷見市融資制度の実効に関する効率化について **H29-094-019**

市融資制度の利用においては、事業者より経営環境等多様な状況から、円滑でスピーディーな融資実行が望まれており、申込みに際しての必要書類である納税証明書など市において確認・証明できる書類の簡素化等について要望します。

(7) 市内4か所のインターチェンジ付近の地域資源開発について **H29-094-020**

高規格道路である能越自動車道は、市内に4か所のインターチェンジを有しており、それぞれの立地条件を活かした工場団地や住宅団地等の開発により、氷見市の魅力度を高めることを期待します。さらに、本事業を積極的且つ専門的に実施するチームの発足を要望します。

(8) 販路開拓に向けた支援について **H29-094-021**

人口減少が進む中、地域の中小企業が生き残っていくためには自社の強みや地域の特産等を活用した新たな販路の開拓が必要不可欠であり、市内の中小企業等が自社開発した製品、技術等の新規販路を戦略的に開拓するために実施する見本市等への出展、市場調査、コーディネーター等の活用などに対しての支援を要望します。